

仙台医療福祉専門学校
令和5年度 学校関係者評価報告書

令和6年6月

学校法人 北杜学園
仙台医療福祉専門学校

◆ 令和5年度 学校関係者評価について

学校法人北杜学園 仙台医療福祉専門学校は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいた評価項目に沿って実施・作成した、「令和5年度自己点検・評価報告書」の結果について、学校関係者評価委員会を開催し、学校関係者評価を実施いたしました。

本校に関係の深い方々から幅広くいただいたご意見・ご提言を評価項目毎に要約し、本報告書に取りまとめました。「令和5年度自己点検・評価報告書」と共にご覧ください。

関係の皆様からいただいた貴重なご意見・ご提言は今後の改善策に盛り込み、学生により良い教育と環境を継続的に提供し、常に質の高い専門職業人を養成してまいりたいと存じます。

令和6年6月
学校法人北杜学園
仙台医療福祉専門学校
校長 工藤 広一

◆ 学校関係者評価委員会 評価委員

氏名	選出区分	所属・役職
とがみ けんいち 戸上 謙一	関係施設	有限会社 ファーマシーすず 統括本部 統括部長
すがさわ まさや 菅澤 昌也	関係施設・卒業生	医療法人 松田会 介護保険部 部長
こいずみ のぶやす 小泉 敦保	関係施設	株式会社 バイタルケア 代表取締役社長

評価項目	(1) 教育理念・目標
①	理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）
②	学校における職業教育の特色は何か
③	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
④	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
⑤	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向付けられているか
評価委員からの評価・意見	
<p>・留学生の介護福祉士養成において、昨年度の合格率が100%ではない理由を確認したが、基礎的な日本語能力が無いために専門的な知識等の習得が難しいことを挙げられた。その対策として週1回日本語の特別授業を実施し、日本語の能力向上を目指す新たな取り組みに期待する。</p> <p>・介護福祉士養成において、留学生の合格率も評価するが、日本人学生が全員合格した実績を高く評価する。介護人材が不足し、国家資格を取得しないで現場に入職する方が多いなか、専門的知識を有して入職する人材は介護業界で非常に貴重であり継続して頂きたい。また、今後は、国家試験の経過措置終了後を見据えた対策も必要になるのではないかと。</p> <p>・新たに開講する精神保健福祉士の養成において、マーケットの需要がどれくらいあるのか確認したが、東北では他に1校しかないこと、既に開講している社会福祉士養成の卒業生からの要望があること、またその養成のノウハウを活かせることなどを挙げられた。現在は、社会福祉士と精神保健福祉士を両方取得する割合が多いことから方向性としても開講は妥当であろう。</p> <p>・社会福祉士の養成については、入学生が年々増加していることからビジネス的にみても評価できる。</p> <p>・全体的な部分であるが、評価項目がガイドラインに基づいたものを継続して行っており、評価が高いものが大半である。評価項目に学校オリジナルのものがあれば、次のステップとして取り組みやすいのではないかと。</p>	

評価項目	(2) 学校運営
①	目的等に沿った運営方針が策定されているか
②	事業計画に沿った運営方針が策定されているか
③	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
④	人事、給与に関する制度は整備されているか
⑤	教務・財務等の組織設備など意思決定システムは整備されているか
⑥	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
⑦	教育活動に関する情報公開が適切になされているか
⑧	情報システム化等による業務の効率化が図られているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT を授業に活用することで、目にみえる具体的な成果は、時間の短縮だと考える。現在、プロジェクトチームを立ち上げて、具体的に活用できる項目について検討中とのことであるが、実施する項目を何点かピックアップして、1年程実施するのが良い。結果、具体的に今まで要していた時間がどれ程短縮できたか判断することで評価がしやすいのではないか。 ・ ICT の活用方法として学生アンケートは実施しているとのことだが、学生支援に繋がる部分として、例えば、学生の悩み相談室のようなものを作り、学生が退学しないようなツールとしての活用は出来ないだろうか。 ・ ICT の活用方法として主役は学生であるので、学生にとって有意義なものとするためには、教員がしたいことでなく、学生がやって欲しいこと、どういう形で繋がりたいのかななどを深掘りしても良いのではないか。 	

評価項目	(3) 教育活動
①	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
②	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
③	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
④	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
⑤	関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
⑥	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置付けられているか
⑦	授業評価の実施・評価体制はあるか
⑧	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか
⑨	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか
⑩	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置付けはあるか
⑪	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
⑫	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか
⑬	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
⑭	職員の能力開発のための研修等が行われているか
評価委員からの評価・意見	
<p>・授業アンケートをこれまで行っていなかった非常勤講師にも実施したが、非常勤講師からも学生の声を聞いて良かったなどの評価があるとのことで、継続的に実施してほしい。</p> <p>・教員の採用についてだが、組織としての年齢バランスを平均年齢が上がってきていることを理由に評価されているが、設置基準上問題がなければ、適切と評価しても良いのではないかと。</p> <p>・教員の採用については戦略が必要である。若い人材を一から育てるのか、即戦力を採用するのか二段階の方法があり、アクセスも異なるので、それぞれ担当者を決めて対応するのが望ましい。</p> <p>・ストレスチェックにおいて、毎年同じ項目について教員は実施していると思うが、対応する学生に関連した最新のチェックをすることが望まれる。また、学生は世代により特徴があると研究でも出ているので、そこを理解するための研修を教員が受けることにより安心感やストレスに対応する勉強にもなると思うので検討頂きたい。</p>	

評価項目	(4) 学修成果
①	就職率の向上が図られているか
②	資格取得率の向上が図られているか
③	退学率の低減が図られているか
④	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
⑤	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
評価委員からの評価・意見	
<p>・退学率の低減についての対応だが、様々な問題がありゼロにするのは難しいが、ゼロに近づける努力は必要である。最終的には学生または保護者が退学の決定をするが、そこに至るまでのフォローをどれくらい行ったかが重要であり、そこが他の専門学校との評価の違いに表れる。</p> <p>・学生が就職した後、すぐに退職することが問題となっているが、そうなった際、学校がいかに再就職を支援出来る体制があるかどうかで専門学校を選ぶ指標になり、学校の評価になると思うので、そういう土壌づくりが必要ではないか。</p> <p>・退職の際、退職代行業者を使い手続きするケースが増えており、退職に至る理由が全く分からない場合がある。学校側から学生時代の情報が少しでもあるとそこを踏まえた育成が出来、退職を防げるのではないかと考える。</p> <p>・退学する学生は1年次が多いとのことであり、企業も同じで、高卒を採用した後、理想と現実のイメージが異なり、早期の離脱に繋がることに納得した。</p> <p>・同窓会の活動であるが、在校生のうちから同窓会についての意識づくりを行わないと難しい部分がある。</p>	

評価項目	(5) 学生支援
①	進路・就職に関する支援体制は整備されているか
②	学生相談に関する体制は整備されているか
③	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか
④	学生の健康管理を担う組織体制はあるか
⑤	課外活動に対する支援体制は整備されているか
⑥	学生の生活環境への支援は行われているか
⑦	保護者と適切に連携しているか
⑧	卒業生への支援体制はあるか
⑨	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
⑩	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか
評価委員からの評価・意見	
<p>・課外活動についての目的は留学生を含めた学生交流に重きを置いており、開催後は横の繋がりが深まり、人間的に成長しているという結果は評価できる。</p> <p>・「校長カフェ」の取り組みについて非常に好印象を受ける。学生も学校のトップとコミュニケーションを取ることにより良い思い出にもなる。また、そこで出た要望が反映されると満足度の向上にも繋がる。良い環境であるので続けてほしい。</p> <p>・福祉業界においては、70歳まで働ける業界であるので、40代、50代の社会人離職者が増えてくる可能性が高い。資格取得のために通信課程や介護福祉士養成に繋がる場合があるので、よりアクセスしやすい環境が求められる。</p>	

評価項目	(6) 教育環境
①	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
②	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
③	防災に対する体制は整備されているか
評価委員からの評価・意見	
<p>・予算の関係もあると思うが、インターネット環境の整備において、学生へのタブレットの貸与について検討するのはどうか。コロナ禍ではスマートフォンで対応したと思うが、学習環境は劣る。</p> <p>・令和4年度に設置したレセプションルームの現在の活用状況を確認したが、演習や実習前後指導で使用頻度が上がり、経験が実習に多いに役立ったという学生の声があり、有効的に機能していると評価する。何回か見学させて頂いているが、素晴らしい施設で、そこでコミュニケーションや知識を積み重ねる経験が非常に大事で、学生の安心感にも繋がるので大いに活用してほしい。</p>	

評価項目	(7) 学生の受入れ募集
①	学生募集活動は、適正に行われているか
②	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
③	学納金は妥当なものとなっているか
評価委員からの評価・意見	
<p>・オープンキャンパスに参加した学生及び保護者において、その後の電話でのフォローは一切していないことを理解した。積極的な勧誘等が有効的ではない側面があり、その方針を取られている点を評価する。</p> <p>・高校訪問について、卒業生を同行させるという案はどうであろう。卒業生が説明することで、より身近になるのではないか。</p> <p>・オープンキャンパスで求める人材像をより明確化することにより、入学後の早期離脱を防げるのではないか。</p> <p>・介護福祉学科の留学生の学納金について、特別減免制度や、介護福祉士修学資金の限度額を考慮し、学びに負担が生じないよう配慮されている点を評価する。</p>	

評価項目	(8) 財務
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
③	財務について会計監査が適正に行われているか
④	財務情報公開の体制整備はできているか
評価委員からの評価・意見	
<p>・過去3か年度の収支差額黒字は健全経営の象徴でもあるので、引き続き安定した推移を期待する。</p> <p>・財務については、過去3か年度にわたり、安定した財務基盤を有していることもあり、情報も開示も学園ホームページにて公開されているので、広く社会に説明責任が果たされていると評価する。</p>	

評価項目	(9) 法令等の遵守
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか
④	自己評価結果を公開しているか
評価委員からの評価・意見	
<p>・様々なハラスメントについては企業も敏感になってきており、多くの企業が研修を実施している。これまで行っていないのであれば、実施する機会にしてほしい。学生と教員の関係性の他、外部者や保護者などが対象になるが、理解が深まると思う。また、学生にも研修を受けてもらう機会があっても良いと思う。</p>	

評価項目	(10) 社会貢献・地域貢献
①	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
②	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
③	地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動に特化した表彰制度があっても良いのではないか。 ・ボランティア活動は社会の勉強として今後の人生にも繋がってくると思うので積極的に推進して頂きたい。 ・みやぎスマイル基金を活用した社会貢献・地域貢献を非常に評価しているので引き続き行って頂きたい。 	

評価項目	(11) 国際交流
①	留学生の受入れについて戦略を持って国際交流を行っているか
②	受入れにおいて適切な手続き等がとられているか
③	学習成果が評価される取組を行っているか
④	学内で適切な体制が整備されているか
評価委員からの評価・意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・2分野の特定技能の履修が可能なカリキュラムを導入しているが、他の分野も就職に繋がる可能性がある ので、検討してみてはどうだろうか。 ・学費の支払い方法について、学生から要望があるので、早期に対応できるよう検討頂きたい。 	